

メ タ バ ー ス

Metaverseって知っていますか？



『Metaverse (メタバース)』という言葉を目にしたことはありますか。

「Metaverse (メタバース)」という言葉は、ニール・スティーヴンソン (米国の小説家、SF作家) の著書『スノウ・クラッシュ』の舞台、人間がアバターを介してインターネット空間でやり取りをする世界からきてしているとされています。語源は「Meta (超)」と「Universe (宇宙)」を組み合わせた造語です。その英語の意味通り、現在とは違う次元の世界を表します。言ってみれば「仮想世界」のことです。インターネット空間の中に構築された、3次元の仮想空間やそのサービスのことを意味しています。そのため、その意味は抽象的なため、わかりにくいことが多いです。

わかりやすくいうと、一時世間を賑わせたゲーム「あつまれ どうぶつの森」(略して「あつ森」)をご存じでしょうか。ご存じの方は、あの「あつ森」を想像してみてください。「あつ森」は個性豊かなどうぶつたちと、新たな住民として引っ越してきた「自分」が生活するゲームです。これもひとつのメタバースと考えることができます。つまりメタバースとは、現実世界に体がありながらも、仮想空間で「自分」が行動できる空間のことです。

日本では主にバーチャル空間の一種として、企業および2021年以降に参入した商業空間をそう呼んでいることが多いです。将来インターネット環境が到達するであろう概念で、利用者はコンピュータのオンライン上に構築された3次元コンピュータグラフィックスの仮想空間に、世界中から思い思いのアバターと呼ばれる自分の分身で参加し、相互に意思疎通しながら買い物や商品の制作・販売といった経済活動を行ったり、そこをもう1つの「現実」として新たな生活を送ったりすることが想定されています。

▶ 仮想世界でできること (一例)

◆**アバター**◆ アバター (英: avatar) とは、ゲームやネットの中で登場する自分自身の「分身」を表すキャラクターの名称のことです。仮想空間で、自分が設定した (または指定された) キャラクターを選んで、意思表示や行動を行うことができます。現実世界と同様、仮想空間で出会う人にアバターが物を渡したり会話をするなどことができます。

◆**バーチャルショップ**◆ バーチャルショップとは、オンラインの仮想空間内に作られた店舗です。リアル店舗と同様に、物品やサービスの購入ができます。バーチャルショップをメタバース空間内に構築すると、アバターで自由に店舗を動き回ることや、アバターの店舗スタッフの接客を受けたり商品や商品情報を調べたりすることも可能です。

◆**バーチャルイベント**◆ バーチャルイベントとは、オンラインの仮想空間内で行うイベントのことです。

アバターで仮想空間内のイベント会場に入場し、椅子に座って登壇者の話を聞いたり、右を向いてその方向にある物や人を確認したりすることも可能になります。

◆**バーチャルオフィス**◆

メタバースのビジネスにおける利用で注目されているものが、仮想空間のオフィスにアバターで入社し、同僚とコミュニケーションや業務を行えるバーチャルオフィスです。